

情報科学研究科
新入生オリエンテーション
(安全衛生・施設経理等)

2021年9月

◆ 研究科の建物・環境

■ 情報科学研究科研究実験棟

- 2001年3月19日竣工
- 8階建8,133m²
- 4専攻から21分野が入居
(基幹44分野中)
- 引き続き**第2棟整備**を要求中



● 情報科学研究科研究実験棟以外の場所へ入居の分野(基幹講座)

- 機械・知能系: 5分野(1,067m²)
- 電気・情報系: 10分野(2,539m²)
- 人間・環境系: 3分野(1,080m²)



駐車場利用について

- ・地下鉄「青葉山」駅は情報科学研究科棟に隣接。
- ・青葉山の**駐車スペースの有料化**(2017年度～)。
- ・このため、原則として、**教職員と博士課程後期3年の課程の学生にのみ自家用車での通勤を許可**。
- ・南側(地下鉄駅に隣接)の**有料駐車スペースも、博士課程前期2年の課程の学生は利用できない**。
- ・教職員も、可能な方は、できるだけ地下鉄での通勤・通学をお願いしたい。

事業場内巡視

産業医および安全衛生管理者が毎月巡回し、
問題点を指摘

研究室安全会議の実施

- 各月：職場の衛生管理(事業場内巡視で指摘された点への対応および以下のような個別トピックを議論
- 4月：新入者の安全衛生教育，各分野安否確認責任者の決定
- 12月：火災予防点検＋各月の職場の衛生管理
- 1月：インフルエンザ予防

防災(避難)訓練の実施(10~11月)

救命講習会の実施(10~11月)

東北大学はキャンパス内全面禁煙

「キャンパス」とは、各学部・研究科の建物、緑地、駐車場、共用の通路、敷地に面する公道の歩道部分等を含む。

- ・喫煙による健康被害の予防
- ・受動喫煙による健康被害の防止
- ・ポイ捨てによる火災の防止

東北大学 安否確認システム(概要)

(1) 導入の目的 本学では、災害時等の有事の際に、学生・教職員皆様全員の安否確認を行うこととして
います。そのため効率良く・スムーズに安否確認を行う手段として、メールを活用した安否確認システ
ムを導入
することとなりました。

(2) 導入の時期: 2014年10月～

(3) システムの対象者: 全ての学生・教職員

(4) システムの概要

- ① 災害等の有事の際に、大学から安否確認や緊急連絡が送信される。
- ② 登録されているメールアドレス等に、連絡が届く。
- ③ 届いたメールの指示に従い、大学へ連絡をする。

(5) 安否確認システムのフロー



東北大学

④ 安否の回答状況を確認



安否確認システム

学生は学務情報システム、教職員は統
合電子認証システムに、メールアドレス
を登録(東北大IDで認証)

③ 安否の状況を回答



学生/教職員

東北大学 安否確認システム

(1)メールアドレスの登録方法 本システムは、メールを活用して皆様に連絡をします。学生は、学務情報システムに、教職員は統合電子認証システムにメールアドレスを登録するだけで、大学から連絡を受信することができます。
※平成26年10月から運用されているDigital Campus Mail(DCメール)は、既に安否確認システムに登録されています。

○学生：学務情報システムへの登録方法

・「本人メールアドレス1」と「転送用メールアドレス」に登録されたメールアドレスに安否確認等の連絡が届きます。

東北大学 学務情報システム
Student Affairs Information System

HOME | 教務 | 事務 | 成績 | シラバス | 学生支援 | 就職支援

学生支援

新規申請

新規申請

申請内容入力 → 申請内容確認 → 申請完了

申請内容を入力してください。(* の項目は必須です。)

学生情報変更届

本籍 宮城県

本人メールアドレス1

本人メールアドレス2

新規申請

各種変更届

学生情報変更届

学生情報変更届

【学生支援】タブ
↓
【新規申請】メニュー
↓
【学生情報変更届】

東北大学 安否確認システム

○学生:学務情報システムへの登録方法



【HOME】タブ
↓
「メッセージ転送設定」メニュー

●転送用メールアドレスとは、休講等の情報をメールで受信するために

、メールアドレスを登録します。

学務情報システムに登録された情報は、設定した転送内容、転送時刻、メッセージ種別により配信されます。

なお、教職員が緊急、重要なお知らせをする場合には、転送時刻の設定に関係なく配信することがあります。

※登録されたメールアドレスは、安否確認システムに登録されます。

※迷惑メール対策(特に携帯電話等)を設定している場合には、以下のメールアドレスからのメールが受信できるように設定ください。

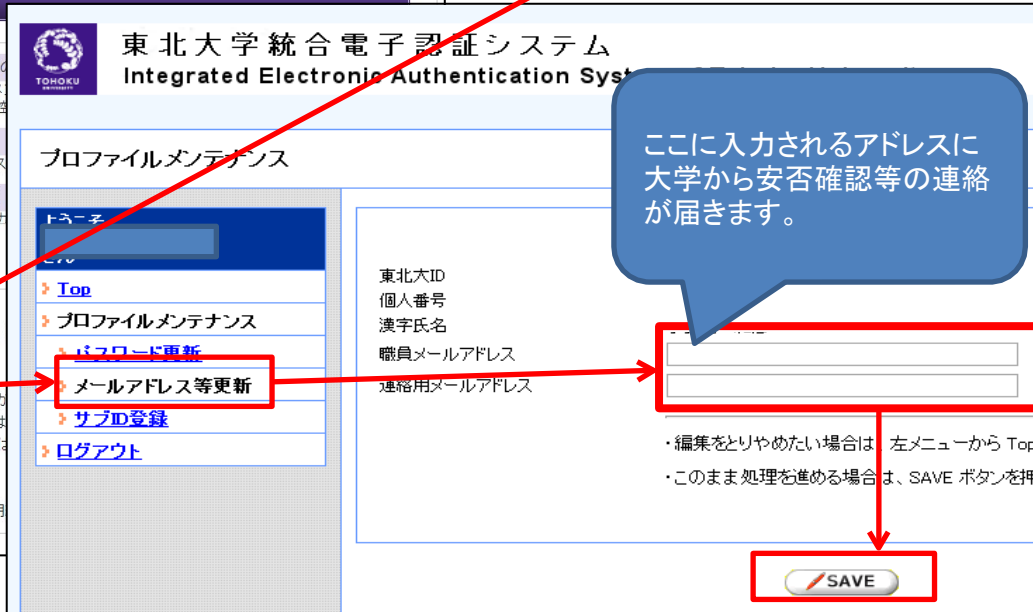
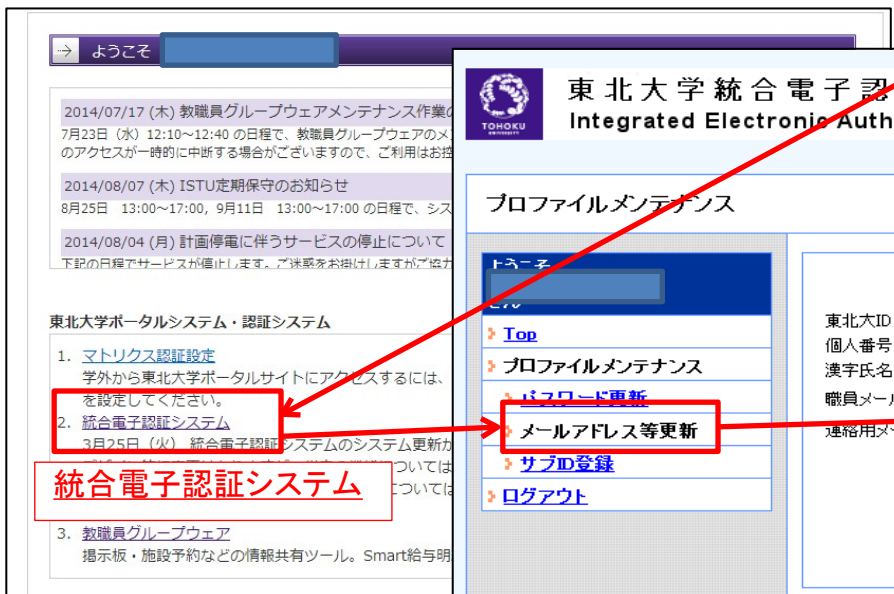
gkms-send@bureau.tohoku.ac.jp (学務情報システム送信元アドレス)

tohoku-univ@anpi.tohoku.ac.jp (安否確認システム送信元アドレス)

東北大学 安否確認システム

○教職員：統合電子認証システムへの登録方法

・「職員メールアドレス」と「連絡用メールアドレス」に登録されたメールアドレスに安否確認等の連絡が届きます。



- 【教職員向け】タブ
- ↓
- 東北大IDでログイン
- ↓
- 統合電子認証システム
- ↓
- メールアドレス等更新
- ↓
- SAVE

東北大学 安否確認システム

(2) 安否確認メールを受信した場合の回答方法(例)

The screenshot shows an email interface in Mozilla Thunderbird. The email is from 'tohoku-univ@anpi.tohoku.ac.jp' with the subject '安否確認訓練 (東北大学) (zdkpuzuXp484)'. The body text is in Japanese and English, mentioning a major earthquake in the Tohoku region and asking for safety status registration. Two URLs are provided for registration: <https://asp34.emc-call3rd.jp/tohok> and <https://asp34.emc-call14th.jp/tohok>. A red box highlights these URLs. On the right, a '連絡確認 - 安否 -' form is open, showing fields for '本人 Your situation' (set to '無事 Unharmed'), '家族 Your family' (set to '全員無事 Unharmed'), and '家屋 Your house' (set to '無事 No Damage'). A red box highlights the '回答' (Response) button at the bottom of the form. A red arrow points from the '回答' button back to the email body text.

メール本文内のURLをクリック。
↓ 各確認項目への回答を
選択。
↓
「回答」ボタンをクリック。



安否確認の回答完了

※携帯電話・スマートフォンも基本操作は同じです。
※専用アプリからの回答も可能です。

(3) その他

①連絡元アドレス tohoku-univ@anpi.tohoku.ac.jp

このドメインが受信できるよう受信設定をして下さい。

②メールが届かない場合

- ・メールBOXがいっぱいになっていませんか？ → メールBOXを整理して下さい。
- ・メールサーバでメールが止まっていませんか？ → 「新規メール問い合わせ」を行って下さい。
- ・迷惑メール対策を行っていませんか？ → ドメインの受信設定を行って下さい。

東北大学 安否確認システム

(4) 専用アプリの登録方法

緊急連絡/安否確認システム
エマージェンシーコール

サーバアクセス用のURL, ユーザID, パスワードを入力してください。

URL(1) https://	ホスト名/企業コード
URL(2) https://	ホスト名/企業コード
ユーザID	ユーザID
パスワード	パスワード

ユーザIDとパスワードを保存

次回以降、ユーザIDとパスワードの入力を省略する場合はオンにしてください。
(この設定はログイン後に反映されます)

登録 / ログイン

スマートデバイスをお使いの場合、「App Store」または「Playストア」から「エマージェンシーコール」アプリ(無料)をダウンロード、インストールし接続設定をすると、東北大ID/パスワードの情報のみで、アプリでの連絡受信が可能になります。
(統合認証システムでパスワードを変更した場合には、アプリのパスワードも変更して下さい)

①初期設定画面で、「URL(1)」と「URL(2)」に、エマージェンシーコールのURLの下記青文字部分を入力します。

URL(1) : <https://asp34.emc-call3rd.jp/tohoku-univ>

URL(2) : <https://asp34.emc-call4th.jp/tohoku-univ>

②東北大ID、パスワードを入力し、「登録」ボタンをタップします。
※「ユーザIDとパスワードを保存」設定がおすすめです。

③連絡履歴画面が表示され、初期設定が完了となります。
(連絡履歴が無い場合、真っ黒/真っ白な画面が表示されます)

専用アプリからの回答方法



※機種や端末設定により通知形式は異なります。

受信した通知またはアプリのアイコンをタップしてアプリを起動し回答操作を行って下さい。

研究科防災・業務継続計画(BCP)

- ・情報科学研究科棟居住の教職員及び学生1名当たり1日(3食分)の食料品・水等を備蓄→災害時に慌てて帰宅しない。
- ・地震の場合、仙台市内で震度6弱以上の地震が発生した場合、あるいは、震度5強以下でも、情報科学研究科長が必要と判断した場合、災害対策本部を設置。
- ・安否・救護班は、災害発生から3日以内に構成員全員の安否を確認。

- ・執務室(事務室・研究室)ごとに安否確認責任者の決定(4月)。
- ・災害発生時、各執務室の安否確認責任者は、安否・救護班と連携して、執務室内のすべての教職員と学生等のうち、安否確認システムで無事が確認できない者の安否を迅速に確認し、安否・救護班に報告。
- ・これを可能とするための、災害時に利用可能なメーリングリストや連絡網を平時に整備していただきたい。



TOHOKU
UNIVERSITY

安全ハンドブック

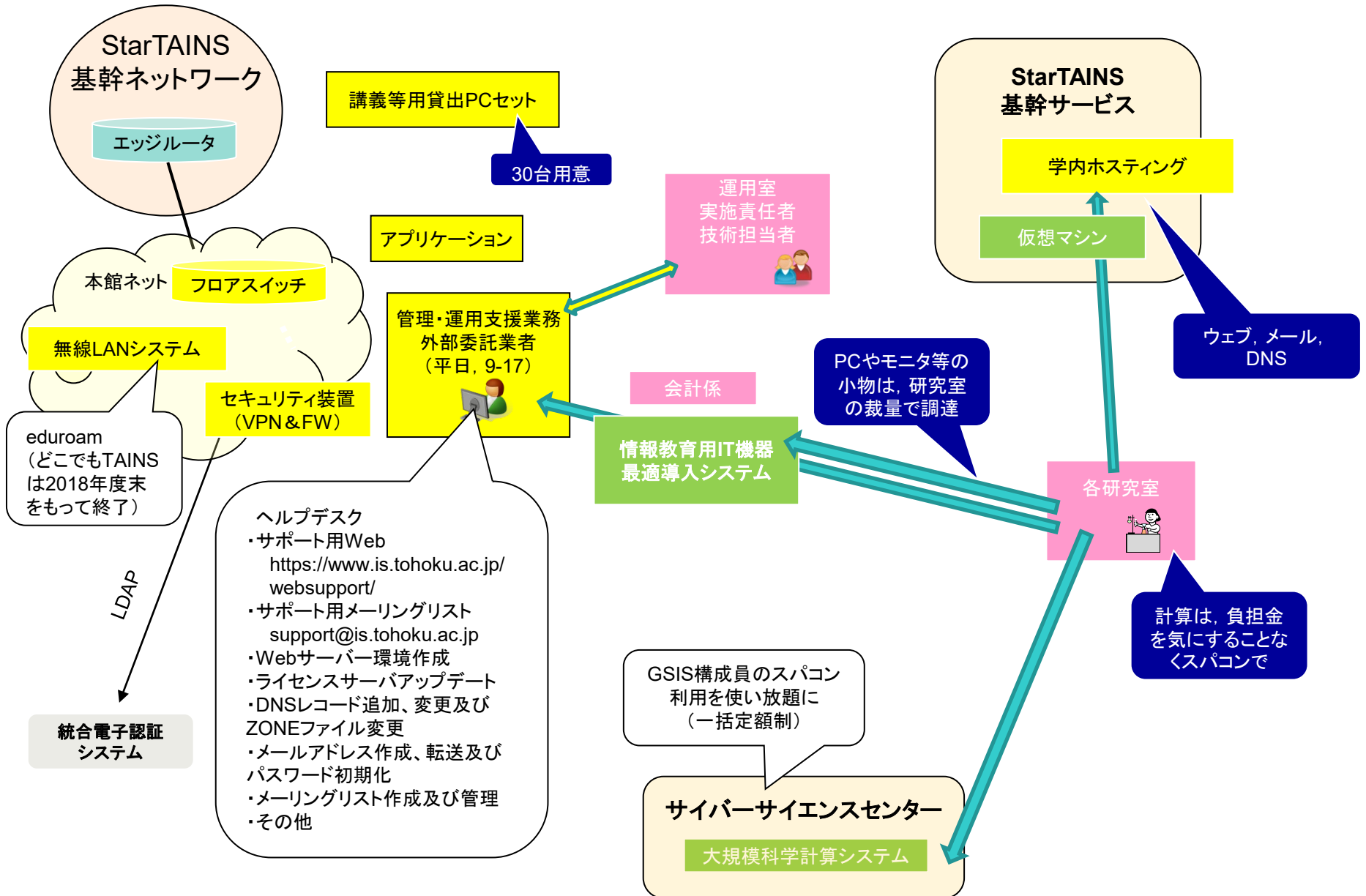
GSIS

Graduate School of Information Sciences,
TOHOKU University
Aoba-ku, Sendai 980-8579, Japan

東北大学大学院情報科学研究科 安全衛生委員会

- ・地震発生時の安全の初動マニュアル
- ・火災時の対応（避難場所など）
- ・事故時の対応（緊急時連絡先など）
- ・学生教育研究災害傷害保険
- ・防災設備・機器の確認
- ・止血法
- ・骨折・脱臼時の対応
- ・熱中症への対応
- ・救命の手順（AED操作マニュアルなど）
- ・身の回りの危険（危険ドラッグなど）

情報教育用電子計算機システム(2018.3~)



講義等用貸出PCセット

- 講義用ノートPC30台 (Panasonic社製 Let's note CF-SZ6E17LC) 及び充電対応型保管キャビネットから構成
- ・OS: Microsoft社製 Windows 10 Home 日本語版 64bit搭載
- ・CPU: インテル® Core™ i5-7200U プロセッサ
- ・主記憶容量: 8 GB搭載
- ・ストレージ容量: SSD 128GB搭載
- ・表示方式: 12.1型ワイド (16 : 10) WUXGA TFTカラー液晶 (1920×1200ドット)
- ・本体重量: 標準バッテリーパック装着時: 約0.704kg、バッテリーパック92AA(オプション)装着時: 約0.929kg
- ・Microsoft社製 Office Professional Plus 2016 日本語版 (Word, Excel, PowerPoint, Access, Outlook を含む) インストール済
- ・Faronics社製 Deep Freeze Standard Educationインストール済

講義等で活用するための一斉貸出PCセット: ミニモバイル演習室のイメージです

アプリケーション

○数式処理ソフトウェア

- ・Mathematica (Mathematica Personal Grid Edition、gridMathematica、webMathematica) を、ユーザ数の制限なく同時に利用可能

○数値解析ソフトウェア

- ・MATLABを、120ユーザ同時に利用可能
- ・Optimization Toolbox, Image Processing Toolboxを、60ユーザ同時に利用可能
- ・Statistics and Machine Learning Toolbox, Neural Network Toolbox, Control System Toolbox, Parallel Computing Toolbox, Signal Processing Toolboxを、20ユーザ同時に利用可能
- ・Simulink, Simulink 3D Animation, MATLAB Compiler, Symbolic Math Toolbox, Partial Differential Equation Toolbox, Curve Fitting Toolbox, Global Optimization Toolbox, Wavelet Toolbox, Computer Vision System Toolbox, Image Acquisition Toolbox, Mapping Toolbox, Instrument Control Toolbox, Bioinformatics Toolboxを、10ユーザ同時に利用可能

○統計解析システム

- ・SPSS (IBM SPSS Statistics BaseおよびIBM SPSS Advanced Statistics) 相当以上、50ユーザ同時に利用可能

人間対象研究倫理審査委員会

本委員会は、国が定める以下の指針(一部抜粋)に該当する研究について審査するために、情報科学研究科長が設置した合議制の委員会。

- ・主に**医学・心理学・生理学・ゲノム**に関係する人間対象研究を行う場合には、事前に申請書に基づく申請と審査が必要。

- ・「**個人情報保護法**」の改正に伴う指針の改正(2017年5月～)を踏まえて、個人情報を取り扱う研究には、従来以上の慎重な対応が必要。

詳細は、「研究科ホームページ」>「研究活動」>「人を対象とする研究倫理審査申請」の中にある、以下のファイルを参照。

- ・人間対象研究倫理審査委員会委員名簿
- ・東北大学における人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(手順書)
- ・人を対象とする研究に関する倫理審査申請書
- ・「同意書」のサンプル
- ・参考資料(文科省・厚労省等の指針など)

倫理審査スケジュール

- ・介入・侵襲の有無・程度に応じて、本審査、または、迅速審査。
- ・毎月第一・第三月曜日に、それまでに受理した申請書のうち迅速審査が可能なものを一括審議。
- ・迅速審査は、原則として1週間の期間を取ってメール審議し結論を得ることが可能なテーマに限定。これ以外は本審査を行う。

また、本研究科(本学)で当該の研究に関する申請を行うに当たっては、本学医学系研究科が実施する「倫理研修」を毎年一回受講するか、同内容を収録した「倫理研修DVD」(または、川内南地区倫理審査委員会講習用DVD)を毎年一回本研究科総務係から借り受けて視聴する必要あり。